

## V. 多文化共生について（問 12～問 14）

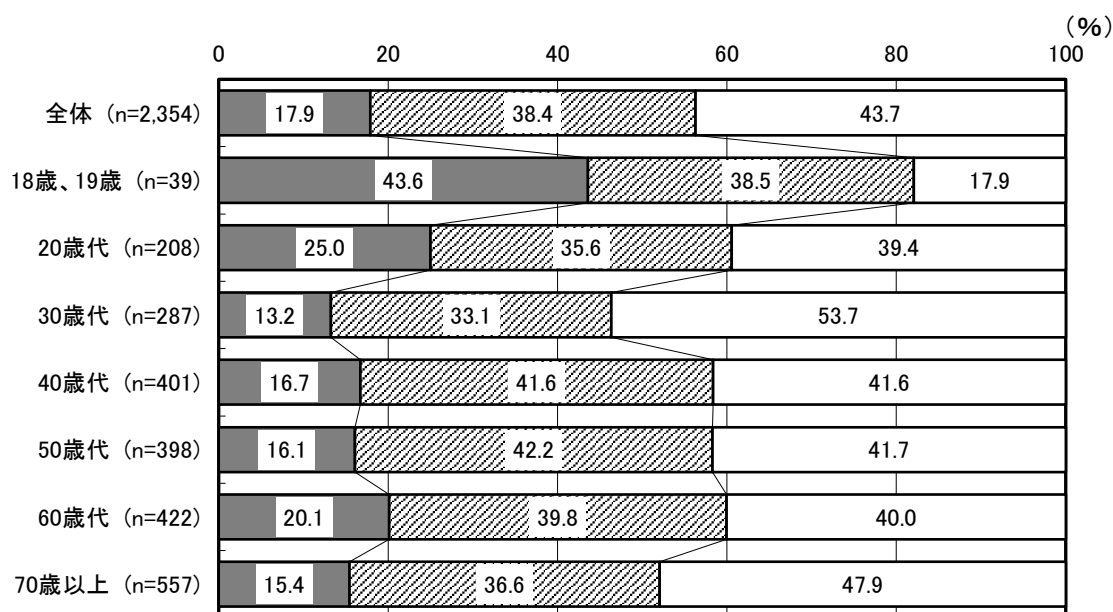
【問 12】あなたは「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。（n=2,354）

### （1）全体的傾向

「聞いたことがない」と回答した人の割合が約 44%で、「聞いたことがあり、意味も理解している」と「聞いたことはあるが、意味はよく分からない」を合わせた「聞いたことがある」人の割合が約 56%となっている。

### （2）年代別にみた特性

18 歳、19 歳で、「聞いたことがあり、意味も理解している」と「聞いたことはあるが、意味はよく分からない」を合わせた「聞いたことがある」と回答した人の割合が約 82%となっており、他の年代と比べ高くなっている。



■聞いたことがあり、意味も理解している ■聞いたことはあるが、意味はよく分からない □聞いたことがない

【問 13】豊橋市には約 1 万 6 千人の外国人市民が共に暮らしています。あなたは地域に外国人市民が増加することをどう感じますか。(複数回答：n=2,382)

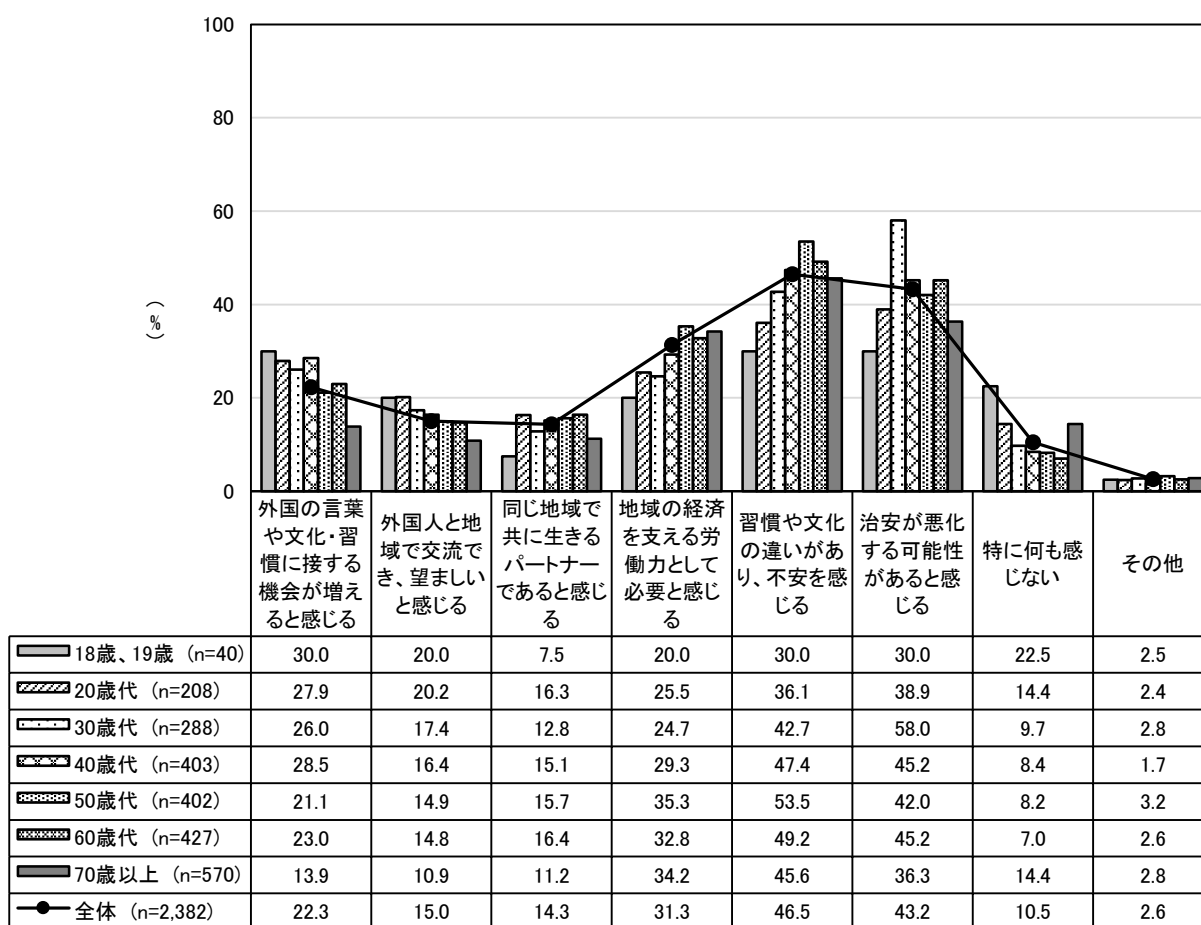
(1) 全体的傾向

「習慣や文化の違いがあり、不安を感じる」と回答した人の割合が約 47%と最も高く、次いで「治安が悪化する可能性があると感じる」(約 43%)、「地域の経済を支える労働力として必要と感じる」(約 31%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

各年代とも、「習慣や文化の違いがあり、不安を感じる」と回答した人の割合が約 30%～54%、「治安が悪化する可能性があると感じる」と回答した人の割合が約 30%～58%と高くなっている。

また、40歳代以上で、「地域の経済を支える労働力として必要と感じる」と回答した人の割合が約 29%～35%と高くなっている。



【問 14】あなたは外国人市民と共に暮らしやすい社会にしていくためには、どんな取り組みが必要であると思いますか。(複数回答：n=2,322)

(1) 全体的傾向

「日本の生活ルールや習慣、文化の違いについての周知」と回答した人の割合が約76%と最も高く、次いで「外国人市民のための相談体制の充実や、多言語での情報提供」(約48%)、「外国人市民への日本語の学習機会の提供、外国人市民の児童・生徒の教育の充実」(約42%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

各年代とも、「日本の生活ルールや習慣、文化の違いについての周知」と回答した人の割合が約72%～81%と最も高くなっている。

また、40歳代以上で、「外国人市民が地域社会へ積極的に参加できるような機会の提供(防災訓練など)」と回答した人の割合が約33%～44%と高くなっている。

